

教 教育・発達心理学

Educational-Developmental Psychology

ONODA Ryosuke
小野田 亮介

科目ナンバリング：UTL-1-301-06

**■授業の目的及び到達目標**

教員の基本的な資質としての人間理解の基礎となる発達や学習について理解することを授業の目的とする。具体的には、人間の生涯における発達の過程とその特徴、学習に関する基礎的知識や指導に必要な基礎的な考え方を理解することである。授業の到達目標は、人間の発達の概要及び学習に関する基本的知識や学習活動における指導の基本的な考え方を理解することである。

■授業計画

- 1 教育心理学, 発達心理学とは
ガイダンスとして、科目内容, 受講態度, 成績評価等について説明する。
- 2 認知の発達
人間の誕生から幼児期までの身体的・心理的発達について考える。
- 3 アタッチメント
アタッチメントの理論に基づいて発達における他者関係の影響について考える。
- 4 記憶
記憶のメカニズムを理解する。
- 5 知識と理解
知識を獲得することや、「わかった」という感覚が生まれるメカニズムについて考える。
- 6 条件づけによる学習
条件づけによる学習の特徴を理解する。
- 7 認知発達と学習
前半部のリアクション・ペーパーを振り返りながら、認知発達と学習の内容を復習し、発展的内容についても考える。
- 8 動機づけ1
内発的・外発的動機づけの考え方と、自己決定理論について学ぶ。
- 9 動機づけ2
自己効力感の理論と達成目標理論について学ぶ。
- 10 問題解決
問題状況に対する解決プロセスとその際に生起するバイアスについて学ぶ。
- 11 授業のデザイン
授業の構成方法や評価の特徴とその影響について学ぶ。
- 12 協働による学習
他者と共に学ぶ際に生起する問題とその解決方法について心理学の知見をもとに考える。
- 13 まとめとレポート
後半部のリアクション・ペーパーを振り返りながら、学習者支援の方法を具体的に考える。
授業全体の理解を問うレポート課題を実施し、その振り返りを行う。

■授業の方法

オンデマンド型で講義を進める。ただし、動画視聴と課題にはそれぞれ期日が設定されているので注意すること。具体的には、原則として授業日（金曜日）に講義動画をアップロードするので、受講者はその週の日曜日までに受講し、各授業の課題（例：リアクションペーパー）を提出することになる。

■予習・復習

予習課題は授業前に掲示板を用いて意見共有することを主とする。復習課題は各授業後に内容を振り返るリアクション・ペーパーを記述し提出することを求める。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

学期末レポート（50%）、授業内課題（20%）、予習課題と復習課題（リアクション・ペーパー）による授業への取り組み（30%）で総合的に評価する。授業内で振り返りとフィードバックとしての解説を行う（Blackboardを用いる場合もある）。

■教科書・参考書

教科書は指定しない。
参考書となる文献については授業内で適宜紹介する。

■関連する科目

教職課程の科目（「基礎資格科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「大学が独自に設定する科目」）および「心理学A」「心理学B」。